

経済レポート

2017年2月の貿易統計の結果

～ 実質輸出は急増～

調査部 研究員 土志田るり子

輸出の動向

2月の輸出金額は、6兆3465億円(前年比+11.3%)と3ヵ月連続で増加した(図表1)。輸出数量指数が前年比+8.3%と上昇し、輸出価格指数も同+2.8%と上昇した。なお、2月の貿易取引の換算レートは1ドル=113.40円と、前年比では3.4%の円高(16年2月の換算レートは1ドル=117.36円)であった。

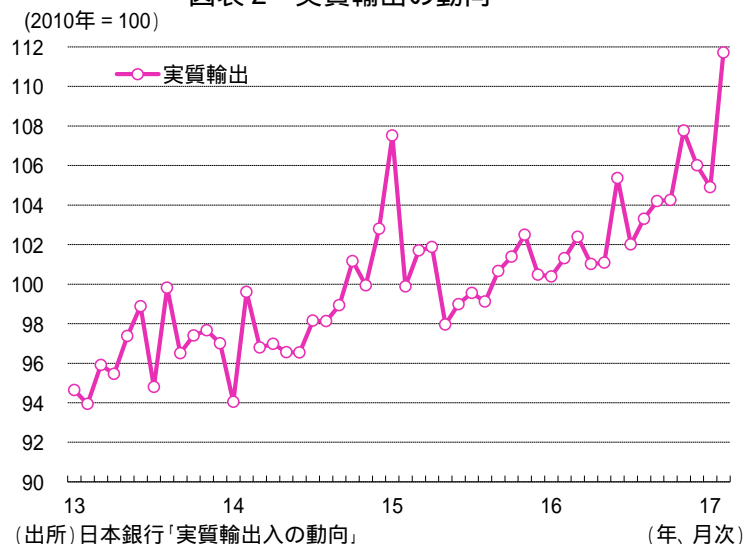
品目別の動きをみると、自動車の部分品(前年比+21.8%)や半導体等電子部品(同+16.8%)が増加した。地域別では、アジア向けが半導体等電子部品を中心に前年比+20.9%と大きく増加した。特に中国向け(前年比+28.2%)やアジアNEEs向け(同+23.5%)の伸びが大きかったが、今年は旧正月(春節)の時期が昨年より早く、1月から休暇が始まったことが影響している可能性がある。そのほか、米国向け(前年比+0.4%)、EU向け(同+3.3%)も増加した。

為替の変動等の影響を除いた実質輸出(季節調整値)は、2月は前月比+6.5%と急増し、水準は2008年3月以来の高さとなった(図表2)。

図表1 輸出金額(前年比)の動向



図表2 実質輸出の動向



輸入の動向

2月の輸入金額は、5兆5331億円(前年比+1.2%)と2ヵ月連続で増加した(図表3)。輸入数量指数が前年比-4.3%と低下した一方で、輸入価格指数が同+5.7%と上昇した。為替の換算レートは前年から円高となったものの、原油などの資源価格が上昇し、輸入価格指数を押し上げた。

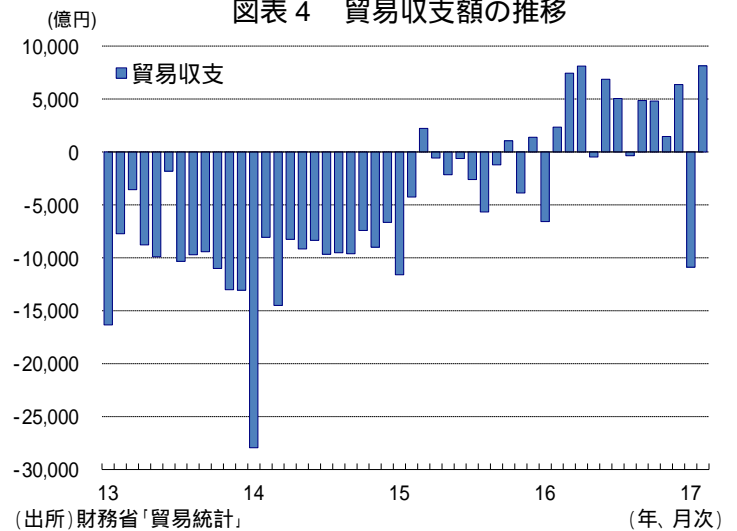
貿易収支の動向

輸出額と輸入額の差である貿易収支は、2月は8134億円と2ヵ月ぶりの黒字となった(図表4)。季節調整値では6803億円の黒字で、前月から黒字幅が拡大した。

図表3 輸入金額(前年比)の動向



図表4 貿易収支額の推移



ご利用に際して -

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。